

科目ナンバー	LIN-3-007-e			科目名	英語学I		
教員名	原島 秀人			開講年度学期	2020年度 前期	単位数	2
概要	英語学とは、英語とはどんな言語であるのか、を学ぶ学問です。合わせて言語とは何か、どんな働きをしているか、という言語学の要素も入って来ます。また、英語を教える、即ち教職に就く場合、当然身につけておかなければならない英語の歴史的背景、文法、音声、語彙、変種などについての基礎的な知識を習得します。難しい内容も含まれるかもしれませんが、2単位の授業なので、受講するからには予習・復習をしっかりとやる心構えを持って選択してください。						
到達目標	英語理解の基礎となる英語発達の歴史を理解し、各時代の特徴を述べられる。音声学・音韻論の基礎的知識を学び、英語の音素を理解する。あわせて各音素を正しく発音し、聞き取り、音声記号で表記できるようになる。						
「共愛12の力」との対応							
識見		自律する力		コミュニケーション力		問題に対応する力	
共生のための知識		自己を理解する力	○	伝え合う力	○	分析し、思考する力	○
共生のための態度		自己を抑制する力		協働する力		構想し、実行する力	○
グローバル・マインド		主体性	○	関係を構築する力		実践的スキル	○
教授法及び課題のフィードバック方法	基本的に講義・演習形式ですが、学生に一人一分野を担当してもらい、発表と討論をする、という形を予定しています。教職の科目でもあるので、学生諸君には教員として生徒に授業をするように、まず自分自身がその内容を理解しているか、十分に参考文献を調べたか、わかり易く資料を作ったか、理解を促す発表・しゃべり方を工夫したか、効果的なプレゼンテーションになるか、などを自己点検して発表に望んで欲しいと思います。質問は授業中も授業後も受け付けますが、メールやMoodleを通しての質問も随時受け付けます。						
アクティブラーニング		○	サービスラーニング			課題解決型学修	
受講条件 前提科目	TOEIC500以上を持っていること。受講者はこの授業が2単位の授業であることを良く心得、それなりの努力、つまり1単位配当の授業の2倍の努力が求められていると理解した上で受講して欲しい。受けるならば是非前期・後期と連続して系統的に学習していただきたい。英語教員を目指す教職課程の学生にとっては必ず取らなければならない科目です。教える方としても、英語教員として恥ずかしくない英語学の基礎をしっかりと身に着けてもらう指導するつもりです。教科書は少し高価ですが、必ず購入するように。教師になってからも役に立つバイブルのようなものです。微妙な音声の違いにも焦点をあてるので、前のほうの席から詰めて座るようにして下さい。						
アセスメントポリシー及び評価方法	中間テスト+学期末テスト（70%）+ 学期中に課す課題・発表の内容（30%）。但し、アテンダンスが規定に満たない者は学期末評価資格を失う。テストは出題範囲の事項を理解しているか、またそれを論理的に説明・論述できるか、を問います。発表は、きちんと準備をして来たか、担当部分の内容を理解しているか、分かり易く簡潔な説明になっているか、などを評価します。また、自分の発表をする日に用意して来ない、事前連絡もない、すなわち「すっぱかした」者は多大な迷惑が他の学生にも及ぶので、評価が落ちますし、そのようなことが無いよう注意して頂きたいです。						
教材	英語学パースペクティブ龍城正明南雲堂ISBN 9784523300755						
参考図書							

内容・スケジュール			
1週目			
授業学修内容	シラバス授業：ガイダンス・英語学とは		
授業外学修内容	復習	時間数	2
2週目			
授業学修内容	英語学の分野・国際語としての英語		
授業外学修内容	復習と次単元を読んでおく事	時間数	3
3週目			
授業学修内容	世界の中の英語・英語の誕生		
授業外学修内			

容	復習と次単元を読んでおく事	時間数	3
4週目			
授業学修内容	英語の歴史・古期英語		
授業外学修内容	復習と次単元を読んでおく事	時間数	3
5週目			
授業学修内容	古期英語		
授業外学修内容	復習と次単元を読んでおく事	時間数	3
6週目			
授業学修内容	中期英語		
授業外学修内容	復習と次単元を読んでおく事	時間数	3
7週目			
授業学修内容	中期英語		
授業外学修内容	復習と次単元を読んでおく事	時間数	3
8週目			
授業学修内容	近代英語		
授業外学修内容	復習と次単元を読んでおく事	時間数	3
9週目			
授業学修内容	近代英語・現代英語・アメリカ英語への分岐		
授業外学修内容	復習と次単元を読んでおく事	時間数	3
10週目			
授業学修内容	英語発達史のまとめと、中間試験（日にちは前後する可能性あり）		
授業外学修内容	英語史の総括復習と次単元を読んでおく事	時間数	2
11週目			
授業学修内容	音声学1		
授業外学修内容	復習と次単元を読んでおく事	時間数	3
12週目			
授業学修内容	音声学2		
授業外学修内容	復習と次単元を読んでおく事	時間数	3
13週目			
授業学修内容	音声学3		
授業外学修内容	復習と次単元を読んでおく事	時間数	3
14週目			
授業学修内容	音韻論		
授業外学修内容	復習と次単元を読んでおく事	時間数	3
15週目			
授業学修内容	音韻論 その2		
授業外学修内容	復習と試験に備えた勉強	時間数	3
上記の授業外学修時間の合計		43	
その他に必要な自習時間		47	

Number	LIN-3-007-e	Subject	English Philology I		
Name	原島 秀人 (Harashima Hideto D.)	Year and Semester	First semester for 2020	Credits	2
Course Outline	In this course students will learn the basics of English Linguistics. The focus of this course is on the history of English language development and English phonetics and phonology. Through lectures and individual presentations students are expected to get a basic understanding of chronological development of English as well as all the phonemes of English. Then we investigate some basic phonological rules of English.				